

平成22年度

学科学学生募集要項

入学案内

推薦	出願期間	平成22年1月5日(火)～1月8日(金)
	面接日	平成22年1月16日(土)
	合格者発表	平成22年1月26日(火)午前10時
	入学手続き	平成22年1月26日(火)～2月5日(金)
学力	出願期間	平成22年2月1日(月)～2月8日(月)
	検査日	平成22年2月21日(日)
	合格者発表	平成22年3月3日(水)午前10時
	入学手続き	平成22年3月3日(水)～3月18日(木)正午

国立鈴鹿工業高等専門学校

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町

電話 059-368-1739・1731

FAX 059-368-1738

ホームページ [http:// www.suzuka-ct.ac.jp](http://www.suzuka-ct.ac.jp)

目 次

入学案内

1. 鈴鹿高専について -----	1
(1) 鈴鹿高専の歴史 -----	1
(2) 教育理念 -----	1
(3) 世界水準を保証する技術者教育プログラムの推進 -----	1
2. アドミッション・ポリシー（学科入学者受入方針） -----	2
(1) 求める入学志願者像 -----	2
(2) 入学者選抜方針 -----	2
3. 修業年限及び学科卒業生の称号 -----	2
4. 学科紹介 -----	2
5. 教育課程 -----	3
6. 授業担当教員（参考：平成21年度） -----	6
7. 卒業後の進路 -----	7
8. 学生支援制度等 -----	8
(1) 課外・クラブ活動 -----	8
(2) 学寮 -----	8
(3) 学生支援室 -----	8
(4) 奨学制度 -----	9
(5) 入学科・授業料免除制度 -----	9
9. 入学時に必要な経費（予定額） -----	9
日本学生支援機構から奨学金予約採用のお知らせ -----	10

平成22年度学科学生募集要項

I. 募集人員 -----	11
II. 選抜の方法 -----	11
III. 推薦による入学者の選抜 -----	11
1. 募集人員 -----	11
2. 中学校からの推薦者数 -----	11
3. 出願資格 -----	11
4. 入学願書受付 -----	12
5. 出願手続 -----	12
6. 選抜の実施方法 -----	12
7. 合格者発表 -----	13
8. 入学手続 -----	13
9. 推薦による選抜で不合格となった者の学力検査受験について -----	13
IV. 学力検査による入学者の選抜 -----	14
1. 出願資格 -----	14
2. 入学願書受付 -----	14
3. 出願手続 -----	14
4. 選抜の実施方法 -----	15
5. 合格者発表 -----	16
6. 入学手続 -----	16
V. 出願上の留意事項 -----	16
VI. 学力検査による入学者選抜を受験した者の入試成績の開示について -----	17
VII. 個人情報の取扱いについて -----	18
VIII. 入試情報の提供について -----	18
IX. 検査場の位置図及び交通案内 -----	18

入 学 案 内

1. 鈴鹿高専について

(1) 鈴鹿高専の歴史

昭和 37 年(1962 年) 4 月に、我が国の工業を支える優れたエンジニアを育成するため、中学校卒業後の 5 年間で大学の学部と同水準の専門教育をめざす国立の高等教育機関として設立されたのが高等専門学校です。

現在、国公立立合わせ 62 校設置されていますが、鈴鹿工業高等専門学校（以下「鈴鹿高専」という。）は制度創設と同時に、機械工学科、電気工学科（現電気電子工学科）、工業化学科（現生物応用化学科）の 3 学科体制で出発しました。その後金属工学科（現材料工学科）と電子情報工学科が増設され、これまでに 6,800 人以上の卒業生が巣立ちました。そして、技術者や研究者あるいは企業経営者として社会で活躍し、教育界や産業界の方々から高い評価を受けています。

また平成 5 年には、科学技術の進展と本格的な国際化時代の到来に対応するため、学科 5 年間の教育課程を卒業後さらに 2 年間の高度な専門教育を実施する「専攻科」を設置し、国際社会で活躍できる人材の育成に努めています。

平成 16 年 4 月には技術者教育の新地平をめざして、独立行政法人「国立高等専門学校機構」が設置する 55 校の国立高専の 1 つとして組織改変がなされるとともに、平成 18 年 3 月には大学評価・学位授与機構の認証評価を受け、高等専門学校評価基準を満たしていると認定されました。

(2) 教育理念

21 世紀を迎えた今、科学技術の高度化と国際化の到来により、技術者教育を担う高等教育機関には新たな展開が求められています。そのため、鈴鹿高専では建学の精神を範とした、次のような教育理念を定め、「世界に羽ばたく創造的なエンジニア」の育成を目指しています。

- ① 広い視野から価値判断ができ、技術者精神を備えた豊かな人間性を涵養します。
- ② 科学技術に関する高い専門知識と技術に基づく深い洞察力と実践力を育成します。
- ③ 未知の問題に果敢に挑み、新たな価値を創造する力を育てます。
- ④ 心身を鍛え、己を確立し、自ら未来を切り拓く力を育てます。

(3) 世界水準を保証する技術者教育プログラムの推進

鈴鹿高専では、学科 4、5 学年と専攻科 1、2 年次の計 4 年間で学習する技術者教育プログラム（「複合型生産システム工学」プログラム）を推進しています。この教育プログラムは、平成 15 年度から日本技術者教育認定機構（JABEE）の正式認定を受け、社会が求める水準と質を十分満たしているとの評価を得ています。入学者は、4 学年になれば自動的にこのプログラムの履修生となります。

2. アドミッション・ポリシー（学科入学者受入方針）

（1）求める入学志願者像

- ・自然科学に興味をもち、将来の科学技術の発展に夢を抱く人
- ・自らの向上をめざして継続的に自己学習ができる人
- ・何事にも積極的に挑戦する意思と意欲のある人

（2）入学者選抜方針

本校では、「世界に羽ばたく創造的エンジニア」の育成を目的とし、その高い可能性を持った学生の選抜を基本とします。

入学者の選抜は、多様な人材を選抜するため、推薦による選抜と学力による選抜を行います。

推薦選抜においては、中学校における成績を評価するとともに、自然科学や科学技術に対する興味、工学を学ぶ意欲、生徒会活動・課外活動・ボランティア活動などの経験を通して育まれたコミュニケーション能力やリーダーシップ能力などを、面接結果を含め総合的に評価し、知徳体にバランスのとれた学生を選抜します。

学力選抜においては、実践的・創造的技術者教育に必要な一般科目と専門科目を十分理解できる学生を選抜するため、その基礎となる学力の試験を行い、合計点を評価して選抜します。

3. 修業年限及び学科卒業生の称号

修業年限は5年で、学科卒業生には「準学士(工学)」の称号が授与されます。なお、卒業後、2年間の専攻科を修了すると、大学卒業者と同等の「学士(工学)」の学位が授与されます。

4. 学科紹介

・機械工学科

我が国の「ものづくり」を支えている機械工学の知識・技術・能力を身に付ける学習を行います。さらに、コンピュータを用いた設計技術や加工技術を学ぶとともに、メカトロニクスの代表であるロボットの製作も行います。

・電気電子工学科

電力供給や鉄道などの社会インフラからデジタルカメラなど様々な電気電子製品の設計・生産をはじめ、機械・化学・食品・医薬品などの幅広い生産の場面や IT 産業で活躍している電気電子技術者を育成しています。

・電子情報工学科

コンピュータはマイクロ化されて携帯電話や DVD プレーヤーなどの情報機器にも組み込まれ、ネットワーク技術とともに現代社会に欠かせません。電子情報工学科では、社会で活躍できる「ソフトウェアのわかる電子技術者」、「ハードウェアのわかる情報技術者」を育成します。

・生物応用化学科

おもに工業化学を学ぶ「応用化学コース」とバイオテクノロジーを学ぶ「生物化学コース」があります。両コース共にファインケミカルズ、合成繊維、医薬、化粧品などに関する知識や技術を学ぶほか最新の化学理論や環境保全技術についても学びます。

・材料工学科

材料の進歩がなければエレクトロニクス、エネルギー、航空・宇宙などの最先端技術の発展はありません。あらゆる分野の基礎となる金属、セラミックス、プラスチック、電子材料などいろいろな材料に関することを学ぶほか、最新の先端材料や材料のリサイクルについても学びます。

5. 教育課程

1、2学年で受ける授業科目は、各学科に共通する一般科目（数学、物理、化学、国語、英語など）と学科別専門基礎科目（実験・実習も含む。）から構成されています。一般科目は社会人や技術者として必要となる基礎的知識と幅広い視野を養い、専門基礎科目は技術者としての第一歩を踏み出すための科目です。

3学年から本格的な専門教育に入っていきます。各分野の理論や技術を学ぶとともに、知識を応用する力、結果を評価し判断する力などを養います。特に4、5学年においては、ものづくりや技術開発の場で新しい価値を生み出す能力を育てるために、より高度な工学実験、創造工学、卒業研究などの重要科目が配置してあります。

なお、本校では「英語によるコミュニケーション能力」を育てる教育にも力を入れており、TOEIC（国際的に通用する英語運用能力検定試験。TOEIC IP テストを含む。）等を活用し、学習支援を行っています。

教育課程表（参考：平成21年度）

《全学科共通 一般科目》

《専門科目》

学年	区分	授業科目	備考	
1年	必修	国語ⅠA		
		国語ⅠB		
		世界史Ⅰ		
		基礎数学A		
		基礎数学B		
		物理		
		化学		
		英語ⅠA		
		英語ⅠB		
		保健体育(武道を含む)		
	地理			
	選択	美術	同時開講 どれか一つ選 択可能	
		音楽		
		書道		
2年	必修	国語Ⅱ		
		政治・経済		
		倫理・社会		
		線形代数Ⅰ		
		微分積分Ⅰ		
		物理		
		化学		
		生物		
		英語ⅡA		
		英語ⅡB		
		保健体育		
3年	必修	日本文学		
		線形代数Ⅱ		
		微分積分Ⅱ		
		英語Ⅲ		
		英語特講		
		総合基礎 数学		
		総合基礎 物理		
総合基礎 英語				
4年	必修	保健体育		
		言語表現学Ⅰ		
		歴史学概論Ⅰ	同時開講 どれか一つを 選択	
		技術者倫理入門Ⅰ		
		法学Ⅰ		
		言語表現学Ⅱ		
		歴史学概論Ⅱ	同時開講 どれか一つを 選択	
		技術者倫理入門Ⅱ		
		法学Ⅱ		
		選択必修	環境科学論	
			地球科学	同時開講 どれか一つを 選択
			物理学特講	
			分子生物学概論	
			環境科学論	
地球科学	同時開講 どれか一つを 選択			
選択	化学特講			
	分子生物学概論			
	英語ⅣA	同時開講		
	英語ⅣB	どちらか選択		
	文学概論Ⅰ			
	心理学Ⅰ	同時開講 どれか一つ選 択可能		
5年	必修	経済学Ⅰ		
		哲学Ⅰ		
		文学概論Ⅱ		
		心理学Ⅱ	同時開講 どれか一つ選 択可能	
		経済学Ⅱ		
		哲学Ⅱ		
5年	選択	数学特講Ⅰ		
		数学特講Ⅱ		
		英語Ⅴ		
		実用英語Ⅰ	同時開講 どれか一つ選 択可能	
		欧米文化論Ⅰ		
		中国語Ⅰ		
5年	選択	実用英語Ⅱ	同時開講 どれか一つ選 択可能	
		欧米文化論Ⅱ		
		中国語Ⅱ		

機械工学科

電気電子工学科

学年	区分	授業科目	区分	授業科目
1年	必修	機械工学序論	必修	電気電子工学序論
		機械工作実習		電気電子製図
		情報処理Ⅰ		情報処理Ⅰ
		機械設計製図		
2年	必修	創造工学演習	必修	創造工学演習
		機械工作法		情報処理Ⅱ
		機械工作実習		電気回路
		情報処理Ⅱ		電気電子工学演習
3年	必修	機械設計製図	必修	電気電子工学実験
		創造工学演習		創造工学演習
		応用数学Ⅰ		応用物理Ⅰ
		応用物理Ⅰ		電気磁気学
4年	必修	総合実習	必修	電気回路
		メカトロニクス		電気電子計測
		材料力学Ⅰ		電子回路
		熱・流体工学基礎		電子物性基礎
5年	必修	機械運動学	必修	電子制御基礎
		機械設計製図		電気機器
		機械加工学		電気電子工学演習
		情報処理応用		電気電子工学実験
6年	必修	電気工学概論	必修	機械工学概論
		創造工学演習		創造工学演習
		応用数学Ⅱ		応用数学Ⅱ
		応用物理Ⅱ		応用物理Ⅱ
7年	必修	創造工学	必修	電気磁気学
		熱力学		電気回路
		水力学		デジタル回路
		機械設計法		電気電子材料
8年	必修	機械力学	必修	半導体工学
		材料学Ⅰ		制御システム
		機械設計製図		電気機器
		工学実験		創造工学
9年	必修	材料力学Ⅱ	必修	電気電子工学実験
		機械工学演習		電気電子応用
		創造工学演習		電子デバイス工学
		インターンシップ		電気電子工学演習
10年	必修	創造工学演習	必修	創造工学演習
		インターンシップ		インターンシップ
		応用数学Ⅱ		応用数学Ⅱ
		計算機援用工学		電気電子材料
11年	必修	材料学Ⅱ	必修	計算機システム
		機械設計製図		電力システム工学
		工学実験		通信理論
		卒業研究		電気電子工学実験
12年	必修	熱工学	必修	卒業研究
		流体工学		高電圧工学
		精密加工学Ⅰ		パワーエレクトロニクス
		精密加工学Ⅱ		情報通信工学
13年	必修	生産システム	必修	応用情報処理
		塑性加工学		電気エネルギー応用
		制御工学		電磁波工学
		電子回路		電気法規
14年	必修	ロボット工学	必修	発変電工学
		工業英語		創造工学演習
		計測工学		インターンシップ
		弾性学		
15年	選択	創造工学演習		
		インターンシップ		

《専門科目》

電子情報工学科

生物応用化学科

材料工学科

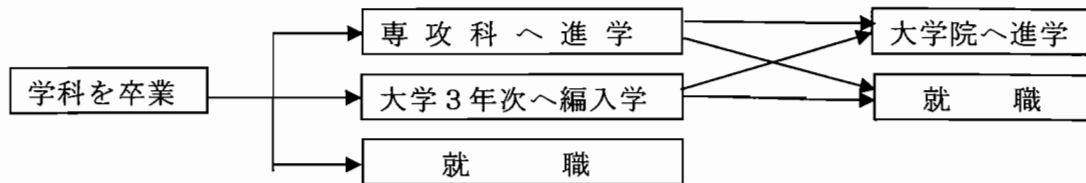
学年	区分	授業科目	区分	授業科目	区分	授業科目		
1年	必修	電子情報工学序論	必修	情報処理Ⅰ	必修	情報処理Ⅰ		
		プログラミング基礎		生物応用化学序論		機械工作法		
		電子情報工学実験		生物応用化学実験		材料工学序論		
	選択	創造工学演習	選択	創造工学演習	選択	材料工学実験		
2年	必修	マイクロコンピュータ基礎	必修	情報処理Ⅱ	必修	情報処理Ⅱ		
		電気電子基礎		有機化学		基礎材料学		
		プログラム設計		分析化学		設計製図Ⅰ		
		電子情報工学実験		生物応用化学実験		ものづくり実習		
	選択	創造工学演習	選択	創造工学演習	選択	材料工学実験		
3年	必修	応用物理Ⅰ	必修	応用物理Ⅰ	必修	創造工学演習		
		デジタル回路		無機化学		応用物理Ⅰ		
		オペレーティングシステム		有機化学		情報処理Ⅲ		
		データ構造とアルゴリズム		物理化学Ⅰ		材料組織学		
		電子機器学		機器分析化学		材料強度学		
		電子工学		生物化学		材料熱力学		
		電気磁気学		微生物学Ⅰ		無機化学		
		電気回路論		細胞生物学		有機化学		
		電子回路		化学工学Ⅰ		設計製図Ⅱ		
		電子情報工学実験		生物応用化学実験		材料工学実験		
選択		創造工学演習	選択	工業英語	選択	材料評価法		
				創造工学演習		電気工学基礎		
4年	必修	電気磁気学	必修	(応用化学コース)		必修	応用数学Ⅰ	
		電気回路論		応用数学Ⅰ	(生物化学コース)		応用物理Ⅱ	
		電子回路		応用物理Ⅱ	情報処理応用		情報処理Ⅳ	無機材料
		応用数学Ⅰ		情報処理応用	無機化学		有機材料	鉄鋼材料
		ソフトウェア工学		無機化学	物理化学Ⅰ		非鉄金属材料	材料物理化学Ⅰ
		計算機アーキテクチャ		物理化学Ⅱ	物理化学Ⅱ		材料物理化学Ⅱ	創造工学
		情報通信ネットワーク		化学工学Ⅰ	化学工学Ⅰ		創造工学	材料工学実験
		基礎制御工学		創造工学	創造工学			
		創造工学		生物応用化学実験	生物応用化学実験			
		情報理論Ⅰ		高分子化学	微生物学Ⅱ		結晶解析学	
	電子情報工学実験	反応工学	生物反応工学	材料物理化学Ⅱ				
		化学工学Ⅱ	生物化学工学	材料力学				
				接合工学				
	選択		応用物理Ⅱ	※精密合成化学	※分子生物学	選択	基礎デジタル回路	
			創造工学演習	環境分析化学	環境分析化学	選択	機械工学基礎	
インターンシップ			創造工学演習	創造工学演習	選択	創造工学演習		
5年	必修	電子材料工学	必修	有機工業化学	必修	材料プロセス工学		
		卒業研究		化学設計製図		化学設計製図	材料環境科学	
		情報理論Ⅱ		卒業研究		卒業研究	材料機器分析	
		計算機工学		化学工学Ⅱ		生物化学工学	生産工学	
		情報数学		応用化学コース実験		生物化学コース実験	設計製図Ⅲ	
	選択	必修	電子計測	選択	無機工業化学	選択	材料工学実験	
			光電子工学		理論有機化学		タンパク質化学	卒業研究
			集積回路工学		機能材料工学		生物情報工学	固体物性
					応用数学Ⅱ		遺伝子工学	半導体工学
					触媒化学		応用数学Ⅱ	材料表面工学
	選択		数値解析	工業物理化学	工業物理化学	電気化学		
			応用数学Ⅱ	化学工学Ⅲ	化学工学Ⅲ	材料保証学		
			情報伝送工学	生物機能工学	生物機能工学	材料設計学		
			画像処理工学	環境工学	環境工学	鑄造工学		
			人工知能	創造工学演習	創造工学演習	塑性加工		
選択		電子制御工学	選択	インターンシップ	選択	機能材料		
		創造工学演習				複合材料		
		インターンシップ				粉体材料		
						応用数学Ⅱ		
						工業英語		
			選択	コンピューター応用				
				基礎メカトロニクス				
				設計製図Ⅳ				
				創造工学演習				
				インターンシップ				

※ 選択必修

6. 授業担当教員（参考：平成21年度）

	職名	修士・博士	氏名	主な担当授業科目	職名	修士・博士	氏名	主な担当授業科目			
教養教育科	人文社会	教授	修士	奥 貞 二	倫理社会、哲学	理科	教授	博士	土田 和 明	物理、応用物理	
		教授	修士	西岡 将 美	国語		教授		大矢 弘 男	物理、応用物理	
		准教授	修士	小倉 正 昭	世界史、歴史学概論		教授	博士	田村 陽 次 郎	物理、応用物理	
		准教授	修士	久留原 昌 宏	国語、日本文学		准教授	修士	山崎 賢 二	化学、化学特講	
		准教授	修士	石谷 春 樹	国語、言語表現学		准教授	博士	仲本 朝 基	物理、応用物理	
	数学	教授	博士	安富 真 一	線形代数、基礎数学	体育・武道	講 師	博士	丹波 之 宏	物理、生物	
		准教授	修士	伊藤 清	微分積分、基礎数学		教授		細野 信 幸	武道、保健体育	
		准教授	博士	堀江 太 郎	微分積分、基礎数学		准教授		松越 一 彦	保健体育	
		講 師	修士	川本 正 治	微分積分、基礎数学		助 教	修士	森 誠 護	保健体育	
		講 師	博士	大貫 洋 介	微分積分、基礎数学		外国語	教授	修士	出口 芳 孝	英語
		助 教	博士	篠原 雅 史	微分積分、基礎数学			教授		中井 洋 生	英語
					准教授	修士		林 浩 士	英語		
					准教授	Ph.D.		Michael E. Lawson	英語		
					講 師	修士	日下 隆 司	英語			
					講 師	博士	齊藤 園 子	英語			
					特任教授	修士	松林 嘉 照	英語			
	機械工学科	教 授	博士	打田 元 美	精密加工学、機械工作実習	准 教 授	博士	民 秋 実	機械力学、機械設計製図		
		教 授	博士	埜 克 己	材料力学、弾性学	准 教 授	博士	藤松 孝 裕	熱工学、熱・流体工学基礎		
教 授		博士	佐 脇 豊	熱力学、塑性加工学	准 教 授	博士	白井 達 也	情報処理応用、ロボット工学			
准 教 授			富岡 巧	機械工作法、メカトロクス	助 教	博士	白木原 香 織	機械運動学、機械設計法			
准 教 授		博士	末次 正 寛	材料力学、計算機援用工学							
准 教 授		博士	近藤 邦 和	水力学、流体工学							
電気電子工学科	教 授	博士	鈴木 昭 二	電気磁気学、通信理論	准 教 授	修士	奥田 一 雄	電気回路、電子制御基礎			
	教 授	博士	北村 登	半導体工学、電子デバイス工学	准 教 授	博士	川口 雅 司	情報処理、計算機システム			
	教 授	博士	花井 孝 明	電気機器、電気回路	講 師	博士	西村 一 寛	電気回路、電気電子工学演習			
	教 授	博士	近藤 一 之	電子回路、デジタル回路	講 師	博士	柴垣 寛 治	電気電子材料、電子物性基礎			
	准 教 授		伊藤 保 之	電気電子製図、電気電子計測	助 教		奥野 正 明	電気電子工学演習、電気電子工学実験			
	准 教 授	博士	中野 荘	高電圧工学、電力システム工学							
電子情報工学科	教 授	博士	齊藤 正 美	基礎制御工学、人工知能	准 教 授	博士	渥美 清 隆	情報処理、情報数学			
	教 授	博士	桑原 裕 史	電子計測、デジタル回路	講 師	修士	平野 武 範	計算機アーキテクチャ、計算機工学			
	教 授	博士	井瀬 潔	電気電子基礎、電気磁気学	講 師	博士	箕浦 弘 人	オペレーティングシステム、ソフトウェア工学			
	准 教 授	修士	長嶋 孝 好	応用数学、情報数学	講 師	博士	青山 俊 弘	プログラム設計、画像処理工学			
	准 教 授	博士	伊藤 明	電子工学、集積回路工学	助 教	博士	森 育 子	情報理論、応用数学			
	准 教 授	博士	田添 丈 博	情報通信ネットワーク、データ構造とアルゴリズム							
生物応用化学科	教 授	博士	富澤 好 太郎	有機化学、物理化学	准 教 授	博士	下野 晃	無機化学、無機工業化学			
	教 授	博士	杉山 利 章	分析化学、機器分析化学	准 教 授	博士	中山 浩 伸	生物情報工学、分子生物学			
	教 授	博士	内藤 幸 雄	生物化学、生物機能工学	准 教 授	博士	山本 智 代	化学、有機工業化学			
	教 授	博士	生貝 初	微生物学、タンパク質化学	講 師	博士	高倉 克 人	物理化学、工業物理化学			
	教 授	博士	岩田 政 司	化学工学、反応工学	講 師	博士	淀谷 真 也	高分子化学、機能材料工学			
	教 授	博士	澤田 善 秋	化学工学、化学設計製図	助 教	博士	小川 亜 希子	生物化学工学、微生物学			
	教 授	博士	長原 滋	有機化学、精密合成化学							
材料工学科	教 授	博士	国枝 義 彦	機能材料、無機材料	准 教 授	博士	下古谷 博 司	有機化学、有機材料			
	教 授	博士	井上 哲 雄	非鉄金属材料、材料強度学	准 教 授	博士	南部 智 憲	材料評価法、材料設計学			
	教 授	博士	宗内 篤 夫	材料環境科学、材料熱力学	講 師	博士	和田 憲 幸	無機化学、固体物性			
	教 授	博士	江崎 尚 和	基礎材料学、結晶解析学	講 師	博士	黒田 大 介	材料力学、設計製図			
	教 授	博士	兼松 秀 行	材料プロセス工学、電気化学	助 教	博士	万谷 義 和	塑性加工、鋳造工学			
	教 授	博士	小林 達 正	材料組織学、半導体工学							

7. 卒業後の進路



第4学年には就職か進学かを決めておく必要があります。この場合、どの道を選択するかは成績に関係なく、学生の自由な意志と希望にゆだねています。

最近では、卒業生約200名のうち、およそ半分が進学し、半分が就職しています。進学希望者のうち25名程度が本校の専攻科へ入学、約75名が大学（殆どが国立大学の3年次）へ編入学しています。また、約100名の就職希望者に対して、過去3年間の求人倍率は約20倍（平成20年度の求人倍率は約25倍）で、希望者全員の就職が実現しています。

なお、専攻科生の修了後の進路は、大学院への進学及び就職となりますが、最近では推薦入学制度がかなり整備されてきており、大学院への進学希望者が増えています。また、就職希望者にあっては、学科学生以上の高い求人倍率となっており、希望者全員が就職しています。

平成18～20年度卒業生 大学編入学・高専専攻科合格状況

大学・専攻科／年度	18	19	20	3年間計	大学・専攻科／年度	18	19	20	3年間計
鈴鹿高専専攻科	39	42	42	123	金沢大学(工)		1	1	2
三重大学(工)	17	12	16	45	福井大学(工)	1		3	4
三重大学(生物資源)		2	1	3	山梨大学(工)	1			1
名古屋大学(工)	3	6	6	15	信州大学(農)	2			2
名古屋大学(情報文化)		1		1	信州大学(理)	1	1		2
名古屋工業大学(工)	5	6	9	20	信州大学(繊維)			2	2
岐阜大学(工)	11	7	14	32	富山大学(工)	2			2
岐阜大学(応用生物)	1			1	京都大学(工)	2	1	1	4
静岡大学(工)	2	4	1	7	京都工芸繊維大学	1	3	4	8
静岡大学(情報)		2	1	3	大阪大学(基礎工)	2			2
静岡大学(農)		1		1	大阪大学(工)		2	7	9
豊橋技術科学大学	21	14	30	65	神戸大学(理)		3	2	5
北海道大学(工)		1		1	神戸大学(工)			1	1
北海道大学(教育)		1		1	神戸大学(発達科学)		1		1
東北大学(工)		1	2	3	奈良女子大学(理)	2	2	4	8
筑波大学(第一学群)		3		3	岡山大学(理)		1		1
筑波大学(第二学群)		2		2	岡山大学(工)	1	2	4	7
筑波大学(第三学群)	1	5		6	広島大学(教)	1			1
筑波大学(理工)			5	5	広島大学(工)			2	2
筑波大学(情報)			3	3	広島大学(理)		1	1	2
筑波大学(図書館情報)		3		3	山口大学(工)	1	1		2
千葉大学(工)	2	1	3	6	九州工業大学(工)		1		1
埼玉大学(工)			1	1	琉球大学(工)			1	1
東京大学(工)	1			1	首都大学(理工)		1		1
東京農工大学(工)	4	4	3	11	首都大学(システム)		1		1
東京農工大学(農)		1		1	静岡県立大学(食品栄養科学)	1			1
東京海洋大学(海洋工)			1	1	大阪府立大学(工)		2	3	5
東京工業大学(工)		1	1	2	大阪市立大学(理)			1	1
東京工業大学(生命理工)	1	1		2	広島市立大学(情報)		1		1
電気通信大学		3	1	4	立命館大学(理工)	3	2	1	6
新潟大学(工)	1	2		3	豊田工業大学	1	2	1	4
長岡技術科学大学	5	8	2	15	同志社大学(工)			1	1
					合計(延べ人数)	136	163	182	481

最近の主な就職先

機械工学科		電気電子工学科	
アイシン精機(株)	独立行政法人国立印刷局	旭化成(株)	中部電力(株)
旭化成(株)	凸版印刷(株)	(株)INAX	東海旅客鉄道(株)
京セラ(株)	トヨタ車体(株)	オムロン(株)	西日本旅客鉄道(株)
(株)小松製作所	日東電工(株)	京セラ(株)	パナソニック電工(株)
JSR(株)	日本車輛製造(株)	サントリー(株)	(株)日立製作所
武田薬品工業(株)	三菱重工(株)	JSR(株)	富士通(株)
中部電力(株)	(株)森精機製作所	シャープ(株)	本田技研工業(株)
東海旅客鉄道(株)	ヤマハ発動機(株)	ダイキン工業(株)	三菱重工業(株)
電子情報工学科		生物応用化学科	
アイシン精機(株)	デンソーテクノ(株)	旭化成(株)	東洋インキ製造(株)
(株)NTTデータ	(株)トヨタコミュニケーションシステム	(株)INAX	東レ(株)
(株)NTTドコモ	トヨタテクニカルディベロップメント(株)	花王(株)	パナソニック電工(株)
大阪ガス(株)	西日本電信電話(株)	関西ペイント(株)	マルホ(株)
関西電力(株)	パナソニック(株)	JSR(株)	三菱化学(株)
シャープ(株)	(株)日立製作所	DIC(株)	(株)ミルボン
ソニーイーエムシーエス(株)	ブラザー工業(株)	(株)ダイヤ分析センター	ロート製薬(株)
中部電力(株)	本田技研工業(株)	太陽化学(株)	和光純薬工業(株)
材料工学科			
(株)INAX	中部電力(株)		
(株)NTN	東芝(株)		
京セラ(株)	東洋インキ製造(株)		
サントリー(株)	(株)豊田中央研究所		
新日本製鐵(株)	ブラザー工業(株)		
住友軽金属工業(株)	本田技研工業(株)		
セントラル硝子(株)	村田製作所(株)		
ソニーイーエムシーエス(株)	明治乳業(株)		

8. 学生支援制度等

(1) 課外・クラブ活動

課外活動やクラブ活動は、学生の心身を鍛え、人間の幅を広げてくれる効果があります。鈴鹿高専では、教育理念に沿ってこれらの活動に対する支援に努めています。学生自身が運営する「学生会」のもとに、18の体育系クラブと12の文化系クラブ、14の同好会があり、若者のやりたいことのほとんどのクラブや同好会が揃っています。毎年7月には全国大会へとつながる東海地区高専体育大会が開催され、平成20年度には56種目中22種目で鈴鹿高専が優勝を果たしています。また、ソーラーカーレース、ロボットコンテスト、プログラミングコンテスト、パソコンコンクール及びエコランレースへの参加など理工系の学校らしい活動もできます。

(2) 学寮

学校敷地内に、学生のための寮である「青峰寮」(低学年男子寮、高学年男子寮、女子寮、留学生・専攻科生寮)があり、入寮を希望する学生は、選考を経て入寮することができます。寮は自宅が遠い、勉強やクラブ活動に励みたい、社会性を身につけたいなど様々な理由をもつ学生の支援制度として大切な役割を果たしています。現在約410名(うち女子学生約90名、留学生14名)の学生が、規則正しい共同生活を行いながら、勉強や課外活動に取り組んでいます。また寮祭などの行事を楽しみ、一生つき合える友人を得て、社会へ巣立っていきます。

(3) 学生支援室

学生支援室では、学生のキャンパスライフを支援するために、学生生活の中で生じる様々な相談ごとや悩みごと(健康・学習・進路・部活動、また交友関係や家庭問題等に関すること)に耳を傾け、また、問題解決するための学生相談員(本校教職員)や学外カウンセラーが配置されています。

(4) 奨学制度

平成16年4月に設立された独立行政法人 日本学生支援機構の規定に基づき学業・人物ともに優れた者で、経済的理由により修学困難な者には、本人の申請に基づき選考のうえ、無利子で奨学金が貸与されます。(次頁に日本学生支援機構からの案内を掲載しています。) その他、地方公共団体や民間育英団体による奨学金もあります。

(5) 入学料・授業料免除制度

・入学料免除

学資を主として負担している者が入学前1年以内に死亡し、または風水害を受けた場合など特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額もしくは半額を免除することがあります。

・授業料免除

経済的事由により授業料の納付が困難で、かつ、学業優秀と認められる学生に対し、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額もしくは半額を免除し、またはその徴収を猶予することがあります。

9. 入学時に必要な経費(予定額)

学校納入金

項目	金額(円)	備考
入学料	84,600	
授業料	117,300	年額234,600円の前期分 後期分は10月に納入 在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
合計	201,900	

入学時に必要なその他の経費

項目	金額(円)	備考
旅行等積立金	27,000	年額54,000円の前期分 後期分は10月に納入
新入生研修費	12,000	入学時のみ納入
学生会費	10,200	入会金及び1年分会費
教育後援会費	22,600	入会金及び前期分会費
傷害共済会費	500	1年分
日本スポーツ振興センター会費	1,520	1年分
合計	73,820	

*上記の他に制服・教科書・教材費等約140,000円(学科によって異なります。)が必要です。

入寮生経費

項目	金額(円)	備考
寄宿料	4,200	月額700円の前期6ヶ月分 後期分は10月に納入
入寮費	4,000	入寮時のみ納入
学寮生活費	32,050	年額64,100円の前期分 後期分は10月に納入 光熱水費、消耗品費等
合計	40,250	

*別途食費 月平均約20,000円が必要です。学寮生活費は諸物価高騰等の理由により改定される場合があります。

平成21年4月

高等専門学校奨学金を希望する皆さんへ [予約採用]

第一種奨学金（無利子）

独立行政法人 日本学生支援機構

日本学生支援機構では、高等専門学校に進学後、奨学金を希望する人を対象に、進学前に奨学生採用候補者の募集をしています。

申込資格及び申込時期等は下記のとおりです。

記

1. 申込資格

中学校、中等教育学校の前期課程並びに特別支援学校の中等部（以下「中学校」という。）の第3学年に在学し、平成22年4月に高等専門学校へ進学する希望を持っている者で、特に優れた資質を有し、経済的理由により著しく修学困難な者。

2. 申込時期

10月初旬～11月末

3. 申込手続

- (1) 現在通っている中学校を通じ、申込書類一式（申込案内、申込書等）を「日本学生支援機構」に請求してください。
- (2) 申込案内に従って必要書類を調べ、現在通っている中学校に提出してください。

4. 申込から奨学金振込まで

- (1) 中学校長の推薦を受け、選考の結果「奨学生採用候補者」として決定します。
* 申込者が全て候補者となるわけではありません。
- (2) 高等専門学校へ進学後、所定の手続を経て、奨学金の振込が開始されます。

5. 貸与月額

進学後、毎月貸与される額は次表のとおりです。（平成21年度現在）

区分	自宅通学	自宅外通学	自宅・自宅外共通
国公立	21,000円	22,500円	10,000円
私立	32,000円	35,000円	

- ※注 1. お問い合わせ及び申込手続は全て、現在通っている中学校を通じて行ってください。
2. この申込によって、高等学校での奨学金を受給することはできません。
(各都道府県で行っている、高等学校奨学金の予約採用とは異なります。)

平成22年度

鈴鹿工業高等専門学校学科学生募集要項

I. 募集人員

学科別の募集人員は、下表のとおりです。

学 科	入 学 定 員
機 械 工 学 科	40 名
電 気 電 子 工 学 科	40 名
電 子 情 報 工 学 科	40 名
生 物 応 用 化 学 科	40 名
材 料 工 学 科	40 名
計	200 名

II. 選抜の方法

入学者の選抜は、「推薦によるもの」と「学力検査によるもの」の二つの方法で行います。

III. 推薦による入学者の選抜

1. 募集人員

推薦選抜による募集人員は各学科とも18名程度とします。

2. 中学校からの推薦者数

制限は設けません。

3. 出願資格

平成22年3月中学校を卒業見込みの者で、次の要件を満たし、在籍中学校長が責任をもって推薦できる者

- (1) 本校入学の意思が強固である者
- (2) 志望学科に対して適性を有し、志望の動機が適切である者
- (3) 品行方正で他の模範となる者
- (4) 中学校3年間における9教科の5段階評価の合計（内申点）が、110（5段階評価の平均約4.1）以上である者

4. 入学願書受付

期 間	平成22年1月5日（火）から平成22年1月8日（金）まで。 郵送の場合も1月8日（金）までに必着のこと。
時 間	午前9時から午後4時30分まで。
場 所	〒510-0294 鈴鹿市白子町 鈴鹿工業高等専門学校 学生課 入試係

5. 出願手続

入学志願者は、本校所定の「振込依頼票」に必要事項を記入し、**入学検定料16,500円**を添えて最寄りの銀行から本校指定の送り先（振込依頼票に記載）へ電信扱いで振り込んでください。（現金自動預払機（ATM）による振込は不可。）

振込期間は平成21年12月1日（火）～平成22年1月8日（金）

振込後、払込証明書を入学願書の裏面に貼り付け、下記の書類を在籍中学校長を経て提出してください。

郵送する場合は、添付の封筒を使用して必ず書留郵便で送ってください。

提出書類	摘 要
入学願書 写真票 受験票	本校所定の用紙（推薦選抜用）に、必要事項を記入したもの。入学願書の裏面に検定料の払込証明書が貼付していないものは無効です。 写真票に貼る写真は、最近3か月以内に撮影した上半身・正面・脱帽・無背景（縦4cm×横3cm）のものとしします。
調査書	本校所定の用紙（推薦選抜用）に、在籍中学校長が必要事項を記載したもの。
推薦書	本校所定の用紙に、在籍中学校長が必要事項を記載したもの。
返信用封筒 （願書を直接持参する場合は不要）	添付の封筒に本人の住所・氏名及び郵便番号を明記して650円分の切手（速達、簡易書留郵便料を含む。）を貼ったもの。
あて名シール	合格通知等を受けるためのものです。住所・氏名・郵便番号を記入してください。

6. 選抜の実施方法

選抜は、在籍中学校長から提出された調査書の「各教科の学習の記録（必修教科の評定）」の合計（内申点）、「特別活動等の記録（生徒会活動、部活動等）」を評価した点（特別活動点）及び面接の結果（面接点）を総合して行います。面接では、アドミッション・ポリシーにそって適性、意欲、人物を評価します。

内申点は135点満点、特別活動点と面接点は合わせて135点満点とし、合計270点満点で評価します。

面接の日時・検査場

期 日	平成22年1月16日(土)
時 間	指定する時間(後日中学校長あてに通知します。)
検 査 場	鈴鹿工業高等専門学校

7. 合格者発表

平成22年1月26日(火) 午前10時

本校内に合格者の受験番号を掲示します。また、遅くとも同日中に在籍中学校長及び本人あて選抜結果の通知書を発送します。

当日、午前10時30分以降に本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。ホームページアドレス <http://www.suzuka-ct.ac.jp/success.htm>

電話等による合否の問い合わせは、ご遠慮願います。

8. 入学手続

入学手続期間は、次のとおりです。

平成22年1月26日(火) 午後1時から

平成22年2月 5日(金) 午後4時30分まで

*土・日曜日は除きます。

(入学手続きの詳細は、合格通知送付の際にお知らせします。)

9. 推薦による選抜で不合格となった者の学力検査受験について

推薦による入学者の選抜の結果、不合格となった場合、あらかじめ入学願書の「学力検査受験希望の有無」欄の「有」に○印を付けた者は、出願書類の再提出及び検定料の再納付をすることなく、学力検査を受験することができます。(学力検査受験用の受験票は、推薦選抜の際に使用した受験票を使用しますので、学力検査当日は当該受験票を持参してください。)

学力検査受験を希望する場合は、「推薦選抜入学願書」提出時に、

- ① 学力検査による選抜の志望学科(推薦選抜の志望学科と異なってもかまいません。)
- ② 学力検査を受験する検査場
- ③ 学力検査による選抜で合格した場合の入学意思

を必ず記入してください。

項目③については、入学願書に、合格した場合の入学意思について次のA、Bから選択し、必ずいずれかに○印を付けてください。A、Bいずれに○印を付けても合否には関係ありません。なお、補欠合格の対象者はAだけとします。

A 鈴鹿高専を第1希望とし、合格したら必ず入学する。

B 合格しても入学するとは限らない。

IV. 学力検査による入学者の選抜

1. 出願資格

- (1) 中学校を卒業した者（平成22年3月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 中等教育課程の前期課程を修了した者（平成22年3月修了見込みの者を含む。）
- (3) その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（学校教育法施行規則第95条各号の一に該当する者）

2. 入学願書受付

期 間	平成22年2月1日（月）から平成22年2月8日（月）まで。 郵送の場合も2月8日（月）までに必着のこと。
時 間	午前9時から午後4時30分まで。 ただし、土・日曜及び祝日は受付をしません。
場 所	〒510-0294 鈴鹿市白子町 鈴鹿工業高等専門学校 学生課 入試係

3. 出願手続

(1) 出 願 書 類

入学志願者は、本校所定の「振込依頼票」に必要事項を記入し、**入学検定料16,500円**を添えて最寄りの銀行から本校指定の送り先（振込依頼票に記載）へ電信扱いで振り込んでください。（現金自動預払機（ATM）による振込は不可。）

振込期間は平成21年12月1日（火）～平成22年2月8日（月）

振込後、払込証明書を入学願書の裏面に貼り付け、下記の書類を在籍（出身）中学校長を経て提出してください。

郵送する場合は、添付の封筒を使用して必ず書留郵便で送ってください。

提 出 書 類	摘 要
入 学 願 書 写 真 票 受 験 票	本校所定の用紙（学力選抜用）に、必要事項を記入したもの。 入学願書の裏面に検定料の払込証明書が貼付してないものは無効です。 写真票に貼る写真は、最近3か月以内に撮影した上半身・正面・脱帽・無背景（縦4cm×横3cm）のものとしします。
調 査 書	本校所定の用紙（学力選抜用）に、在籍（出身）中学校長が必要事項を記載したもの。
志 願 者 意 思 確 認 書	本校所定の用紙に、志願者（本人）および保護者名で必要事項を記載したもの。
返 信 用 封 筒 (願書を直接持参する場合は不要)	受験票を送付するためのものです。添付の封筒に本人の住所・氏名及び郵便番号を明記して650円分の切手（速達、簡易書留郵便料を含む。）を貼ったもの。
あて名シール	合格通知等を受けるためのものです。住所・氏名・郵便番号を記入してください。

(2) 入学意思の確認について

志願者意思確認書に、合格した場合の入学意思について、次のA、Bから選択し、必ずいずれかに○印を付けてください。A、Bいずれに○印を付けても可否には関係ありません。なお、補欠合格の対象者はAだけとします。

A 鈴鹿高専を第1希望とし、合格したら必ず入学する。

B 合格しても入学するとは限らない。

(3) 志望学科について

入学願書及びその他の提出書類に、志望学科を記入してください。出願後の志望学科の変更は認めません。

(4) 第2志望学科について

出願期間終了後、第2志望学科として選択できる学科がある場合には、選択できる学科を平成22年2月12日（金）までに本校ホームページに掲載します。

ホームページアドレス [http:// www.suzuka-ct.ac.jp/application.htm](http://www.suzuka-ct.ac.jp/application.htm)

なお、第2志望学科として選択できる学科がある場合、希望する第2志望学科の確認は学力検査当日の筆記試験終了後に行います。

4. 選抜の実施方法

選抜は、学力検査（理科、英語、数学、国語、社会）の結果で行います。学力検査では、各教科100点満点、5教科計500点満点で評価します。合格ライン上で学力検査による評価点が同点となる者が出た場合は、在籍（出身）中学校長から提出された調査書の優劣で合格者を決定します。

(1) 学 力 検 査

学力検査は筆記試験とし、出題する教科は、理科、英語、数学、国語及び社会の5教科です。

(2) 検 査 日 時

月 日（曜日）	教 科	時 間
2月21日（日）	理 科	9時30分 ～ 10時20分
	英 語	10時40分 ～ 11時30分
	数 学	11時50分 ～ 12時40分
	国 語	13時30分 ～ 14時20分
	社 会	14時40分 ～ 15時30分

(3) 検 査 場

検査場は、下記の3か所です。希望する検査場を選んでください。

- ① 鈴鹿工業高等専門学校（三重県鈴鹿市白子町）
- ② 伊賀上野交流研修センター（三重県伊賀市三田986-1）
- ③ 甲賀市共同福祉施設（サトピア水口内）（滋賀県甲賀市水口町北内貴1-2）

5. 合格者発表

平成22年3月3日(水)午前10時

本校内に合格者の受験番号を掲示します。また、遅くとも同日中に本人あてに合格通知書又は補欠合格通知書を発送するとともに、中学校長あてには合格者及び補欠合格対象者の受験番号一覧を発送します。

当日、午前10時30分以降に本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。ホームページアドレス <http://www.suzuka-ct.ac.jp/success.htm>

電話による可否の問い合わせは、ご遠慮願います。

6. 入学手続

入学手続期間は、次のとおりです。

平成22年3月3日(水)午後1時から

平成22年3月18日(木)正午まで

*土・日曜日は除きます。

(入学手続きの詳細は、合格通知送付の際にお知らせします。)

V. 出願上の留意事項

- 1 受験票は、入学願書を受理したのち本人あてに交付または郵送します。この受験票は検査当日必ず持参してください。
- 2 出願書類を受理した後の検定料は、理由を問わず返還できません。
- 3 出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- 4 身体に障害を有する志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする方は、出願に先立ち(推薦による選抜の場合は平成21年12月18日まで、学力検査による選抜の場合は平成22年1月15日まで)、本校学生課入試係まで申し出てください。
- 5 募集要項及び入学試験に関し疑問がある場合は、下記にお問い合わせください。

問い合わせ先

鈴鹿工業高等専門学校 学生課 入試係

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町

電話 (059) 368-1739・1731 (学生課入試係直通)

FAX (059) 368-1738 (学 生 課)

VI. **学力検査による入学者選抜を受験した者の入試成績の開示について**

本校では、受験者が希望する場合、下記により入試成績の開示を行います。

1. 申請者

学力検査による入学者選抜の受験者本人に限ります。(代理人による申請は認めません。)

2. 開示内容

- (1) 学力検査の科目別得点
- (2) 総得点
- (3) 志望学科における順位

(注) 推薦による選抜は、この制度による開示の対象となりませんので注意してください。

3. 申請期間

平成22年3月4日(木)から4月30日(金)までとします。

(土曜日、日曜日及び祝日を除き、9時から12時まで、13時から16時まで)

4. 申請に必要な書類

- ① 鈴鹿工業高等専門学校入試成績開示申請書
- ② 本校受験票及び本人確認できるもの(学生証等)。
- ③ 返信用封筒(開示通知書送付用。郵送による開示請求の場合のみ。)

長型3号の封筒に、本人の郵便番号・住所(入学願書に記載されている住所に限る。)

・氏名を明記の上、390円分の切手をはってください。

(注) 入試成績開示申請書は、本校ホームページから印刷することができます。

5. 申請方法

開示を請求する受験者本人が来校し、本校の受験票(コピーは不可)及び本人確認できるもの(学生証等)を提示し、学生課の窓口で申請してください。

遠隔地に居住する等の理由で本人が来校することができない場合は、郵便でも受け付けますので本校の受験票(コピーは不可)及び本人確認できるもの(学生証等のコピー)を同封してください。(4月30日(金)消印有効。)

6. 開示の方法

本人が来校し窓口で申請した場合には、原則として申請した日に窓口で閲覧の形で開示します。ただし、申請者が多数の場合は、当日のうちに閲覧できないことがあります。

郵便により申請した場合には、提出された返信封筒を使用し郵送により開示します。

(一週間程度日数がかかる場合があります。)

7 問い合わせ先

〒510-0294

鈴鹿市白子町

鈴鹿工業高等専門学校 学生課 入試係

電話 059-368-1739

Ⅶ. 個人情報取扱について

本校では、入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

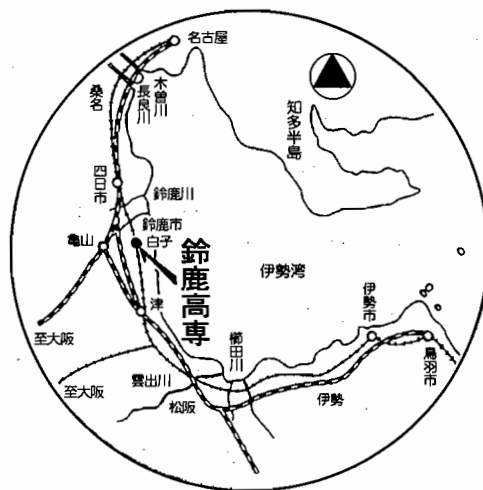
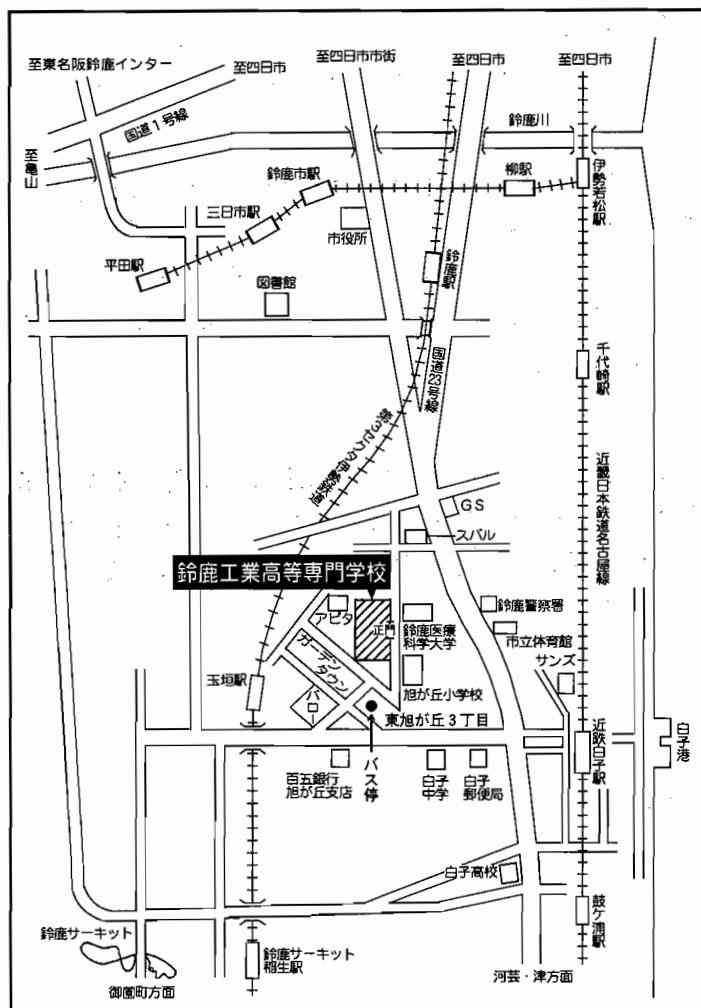
- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

Ⅷ. 入試情報の提供について

本校では、推薦及び学力による入学者選抜の願書受付期間中、適時入学願書の受付状況をホームページでお知らせします。

Ⅸ. 検査場の位置図及び交通案内

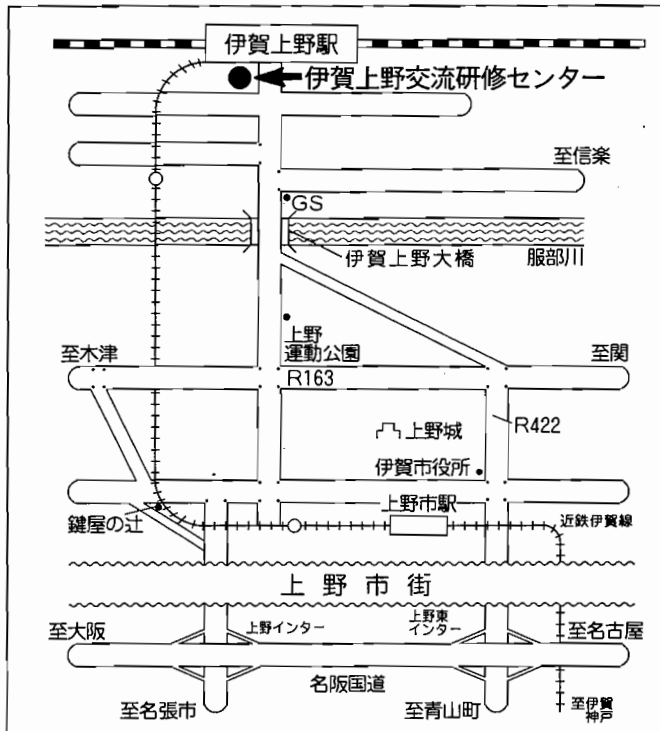
◎鈴鹿工業高等専門学校



検査場までの交通案内

近鉄名古屋線白子駅で下車。
白子駅西口から三重交通バス平田町行、鈴鹿サーキット行に乗車約10分、東旭が丘3丁目下車、徒歩約10分。

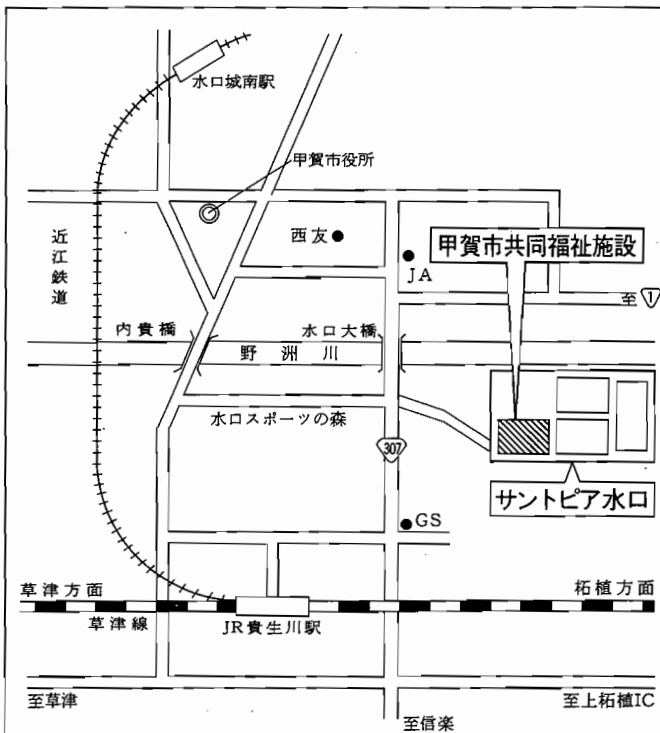
◎伊賀上野交流研修センター



住所 伊賀市三田986-1
電話 0595-24-6078

検査場までの交通案内
JR 関西線・近鉄伊賀線
伊賀上野駅前

◎甲賀市共同福祉施設(サントピア水口内)



住所 滋賀県甲賀市水口町北内貴1-2
電話 0748-63-2953

検査場までの交通案内
JR 草津線 貴生川駅下車、徒歩約25分。
又は近江鉄道城南駅下車、徒歩約20分。

入学試験に関する問い合わせ、出願書類の請求先

国立鈴鹿工業高等専門学校

学生課 入試係

TEL 059-368-1739

368-1731

FAX 368-1738

ホームページアドレス

<http://www.suzuka-ct.ac.jp>

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町